



柿崎区地域協議会だより



発行：柿崎区地域協議会 事務局：柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ Tel.025-536-2211

まちづくりフォーラムを開きました



柿崎区地域協議会では、実行委員会を立ち上げて、令和7年度のまちづくりフォーラムを開きました。

「活気あるまちづくりのために自らできることを考える」を合言葉に、事前準備を進めてきました。多くの皆様のご参加を願い、区内の事業所や店舗などを回り、ちらしやポスターの掲示にご協力をいただきました。

おかげさまで、当日は63名の出席があり、活動報告に耳を傾けていただきました。積極的な質疑や意見も多く、貴重な時間となりました。

※上越市では平成17年の市町村合併を機に地域自治区が設置され、そのときに地域協議会が設けられました。

地域協議会は、市長の附属機関です。地域住民としての観点から地域の課題について話し合い、その内容を地域団体等との連携・調整により取り組むとともに、市長に意見として伝えることができます。



まちづくりフォーラム当日、会場入り口の廊下に柿崎小学校4年生児童から柿崎山岳会にあてた感謝のメッセージが張り出されました。一つひとつ、子どもたちの目線から見た心のこもった気持ちが書き綴られていました。

柿崎区地域協議会では、3月に設立された「米山を守る会」と連携しながら米山を守り、米山の魅力を発信していく方法を考えていきます。

柿崎山岳会の皆様の長きにわたる献身的な活動に対し、心から敬意を表します。

自主的審議事項の取組状況を報告します



各区地域協議会は、地域住民としての観点から地域の課題や地域の活性化などについても話し合っています。話し合った結果は、その内容に応じて、区内で活動している団体に協力・連携を求めるとともに、市長に意見書を提出し、市政での実現を求めていくことができます。

柿崎区地域協議会では、令和6年度に地域協議会本会議で協議し、自主的に審議するテーマを3項目に絞り、テーマ別に委員会を立ち上げて、調査、研究、協議を進めています。令和7年度末時点の取組状況を報告します。

自主的審議事項 テーマ1

柿崎山岳会解散後の米山登山道等の維持管理及び魅力発信を考える

委員会名 米山薬師を守る会



柿崎山岳会が令和8年3月をもって解散することから、これまで山岳会が担ってきた米山山頂避難小屋やトイレ、登山道の維持管理のあり方と、地域の活性化を図るため米山の魅力の発信方法を検討しています。

①意見交換を実施

今年度は、柿崎区総合事務所産業グループとの意見交換を行いました。今まで

柿崎山岳会の皆さんが担ってきた米山登山道や山頂にある施設の維持管理が令和8年度から同じように継承できそうか可能性を確認しました。

②参道整備等と同行

地域協議会委員の有志が柿崎山岳会の活動に同行させてもらいました。作業内容は、雪解け後の倒木処理と三十三観音起こし、山頂トイレの組み立て、解体



の補助、登山道の草刈りです。山頂トイレの組み立てや解体作業など、経験のある人材が必要であることを痛感しました。

今後、柿崎区の住民グループで進めている後継団体設立の行方を見守り、後継団体の活動が始まりましたら、魅力発信について、後継団体の皆さんと考えていきたいと思っています。

自主的審議事項 テーマ2

スポーツを通じた地域振興・地域活性化を考える

委員会名 スポ×まちプロジェクト

区内には総合体育館や野球場、人工芝グラウンド、屋内水泳プール、テニスコートなど多くのスポーツ施設が整っていることから、施設の魅力を高め利用者増を図るため、施設の活用方法と情報発信方法を検討しています。

①意見交換で得られたこと

今年度は、区内の小中学生のスポーツ



チーム役員との意見交換を行いました。意見交換の中で、大会運営に関すること、子どもの減少によるチームの存続などの課題を抱えていることが分かりました。

②スポーツによる

まちづくりを実現するための課題運営をはじめ、企画・調整・広報につ



いても技術を持つ事務局体制があればスポーツによるまちづくりを実現させる体制構築につながるのではないかと考えています。

今後、市内のスポーツ系のNPO法人与自然体協議会を検討しています。日頃、活動に際して感じている課題や事務局としての活動条件などをお聞きしたいと考えています。



自主的審議事項 テーマ3

住民、地域、団体をつなぐ新たなネットワークの構築を考える

委員会名 ネットワーク柿崎

地域振興や移住・定住の促進、関係人口増加に向けて、住民、地域の各団体、企業、行政が連携し、柿崎区の魅力や様々なイベント、話題などの情報を発信できる環境(プラットフォーム)の構築について、検討しています。

地域の行事や催しを一元的に把握できるようにして、住民の参加を促進する環境が作りたいたいという思いからです。

①現状把握から得られたこと

これまでに県内外で運用されているサイトや柿崎区の情報発信ツールなどを調査して、勉強会や意見交換会を開催してきました。その結果、柿崎区にはすでに素晴らしい情報発信ツールがあることを再認識するに至りました。中でも柿崎観光協会や柿崎まちづくり振興会のホームページは、とてもよくできています。

②活動を通して見えてきたこと

前述の通り、柿崎区にはすでに素晴らしい情報発信ツールが複数あります。そこへ更に新たなプラットフォームを作るのではなく、既存資源を生かして、持続可能な仕組みづくりを考えることが必要・重要ではないかと考えています。

今後、引き続き地域・行政・関係各所と検討・協議をしていきます。



現在の柿崎を知り、未来の柿崎を創造する ～柿崎の未来は、ここから始まる～



雪の多かった今冬ですが、ようやく春の気配を感じ、温かな陽気に恵まれた 2 月 22 日に「まちづくりフォーラム」を開催することができました。

令和 6 年度から自主的審議を続ける 3 つの委員会の活動報告のほか、「上越地区産業廃棄物最終処分場の整備について」県環境保全事業団様、「柿崎区小学校の統合に関する状況について」上越市教育総務課様をお迎えして、丁寧に説明していただきました。

地域の皆様からは、多くの質問、意見、提案をいただきました。

皆様のこれらの思いを活かせるよう、地域の皆様が住みやすく、大好きな柿崎の未来につながる活動をこれからも進めていきたいと思えます。

フォーラムにご参加いただいた皆様、携わっていただいた皆様、本当にありがとうございました。



実行委員長 坂木朋子



柿崎区地域協議会の主なうごき(令和 8 年 1 月～令和 8 年 3 月)

開催月日	会議名	開催月日	会議名
1 月 19 日	第 12 回ネットワーク柿崎	2 月 17 日	第 11 回地域協議会
1 月 20 日	第 10 回地域協議会	2 月 22 日	まちづくりフォーラム
1 月 20 日	まちづくりフォーラム実行委員会	3 月 5 日	第 7 回地域協議会だより編集委員会
1 月 23 日	第 6 回地域協議会だより編集委員会	3 月 17 日	第 12 回地域協議会
2 月 5 日	第 9 回米山薬師を守る会		

【編集後記】

年度の締めとなるこの号をお届けしながら、皆様とともに歩んできた一年を静かに振り返っています。先月のまちづくりフォーラムでは多くの皆様の参加をいただき、誠にありがとうございました。熱心な質問やご意見が寄せられ、皆さまの深さと前向きな姿勢に触れ、私たちも大きな励ましをいただきました。

また、能動的に情報と向き合う皆さんの姿勢に深い感銘をうけました。近年、巧妙化が進むなりすまし詐欺や AI を利用した事件のニュースなどに触れるにつけ不安な気持ちになるのですが、ただ聞き過ごすのではなく、情報を選択し、それが本当に正しくて信頼できるのかを(時には立ち止まって周囲に聞くなどして)評価し、目的に沿って活用できるように心掛けたいと思いました。一周回ってアナログセキュリティの代名詞でもある合言葉「つて意外と有効なのかもしれませんね。」

(滝澤 正芳)

編集委員長 佐藤まゆみ

編集委員

石田一久 小出祥世

小山 慶 佐藤昌貴

滝澤正芳